



# 地方創生SDGs国際フォーラム2020

地方創生SDGsの一層の推進 ～第2期まち・ひと・しごと創生に向けて～



SDGsの  
ローカライゼーション：  
クアラルンプール市の地方創生

マハディ・ンガー

クアラルンプール市 市長顧問(都市計画担当)

日経ホール(東京・千代田区)

2020年1月10日



## プレゼンテーションの 概要

1. クアラルンプール市の概要
2. 都市問題
3. 持続可能な開発目標(SDGs)
4. 今後の計画、プロジェクトおよびプログラム
5. まとめ



## 1.0. クアラルンプール市の概要

- マレーシアの首都
- ビジョン: 「To Be A World Class Sustainable and Livable City for All (すべての人にとって住みやすい、世界水準の持続可能都市)」
- 面積: 243 km<sup>2</sup>
- 人口: 180万人
- GDP成長率: 年間7.1%(2010年~2017年)

クアラルンプール市は、SDGs達成に向けた取り組みが、このビジョン実現に大きく寄与すると確信しています。







鉄砲水

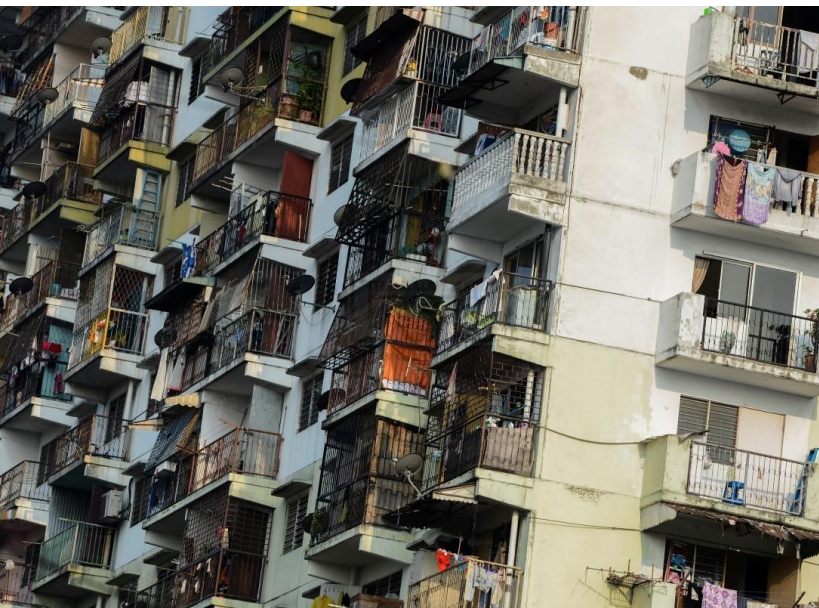


交通渋滞

## 2.0. 都市問題

クアラルンプール市が抱える主要問題

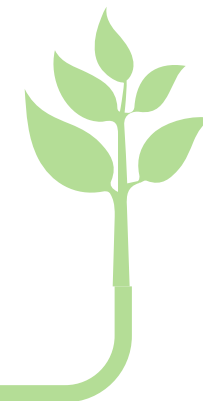
- 法定開発計画期間が終了間近
- 整合性のとれていない開発
- 交通渋滞
- 公共交通機関の利用率の低さ
- 頻発する鉄砲水
- 気温の上昇
- 公共住宅の供給不足
- 無理なく購入できる価格の住宅の供給不足
- 不十分なゴミ処理能力



老朽化した公営住宅



不十分なゴミ処理能力





### 3.0. 持続可能な開発目標(SDGs)

#### SDGsの基本原則

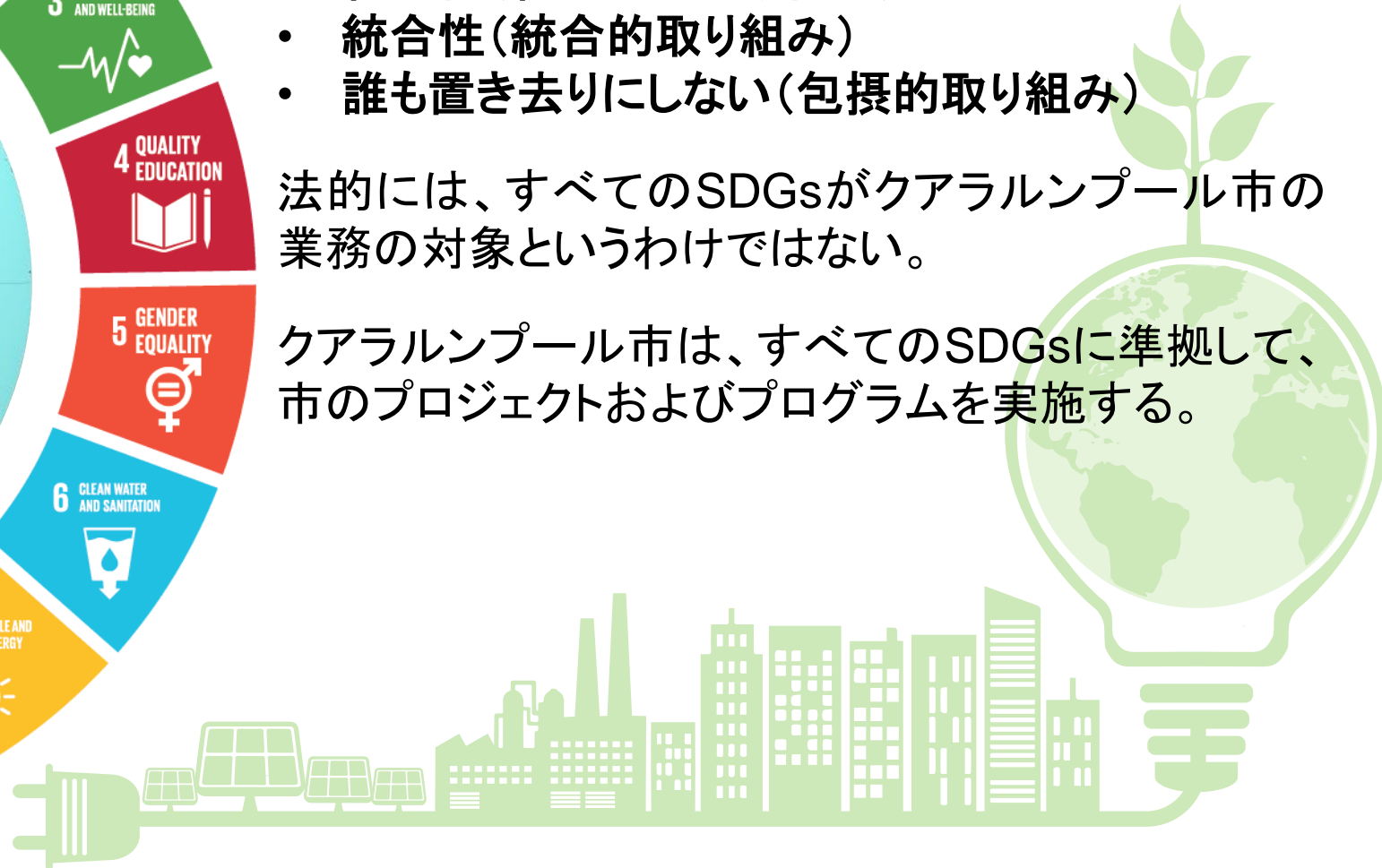
- 普遍性(普遍的な取り組み)
- 統合性(統合的取り組み)
- 誰も置き去りにしない(包摂的取り組み)

法的には、すべてのSDGsがクアラルンプール市の業務の対象というわけではない。

クアラルンプール市は、すべてのSDGsに準拠して、市のプロジェクトおよびプログラムを実施する。



持続可能な開発のための  
グローバル目標







## 4.0. 今後の計画、プロジェクトおよびプログラム

クアラルンプール市はアジアの中でも特に急速に成長を遂げている都市の一つである。

市長は次のように述べている。

「今後実施していく計画、プロジェクトおよびプログラムはすべて、SDGsと整合していなければならない」



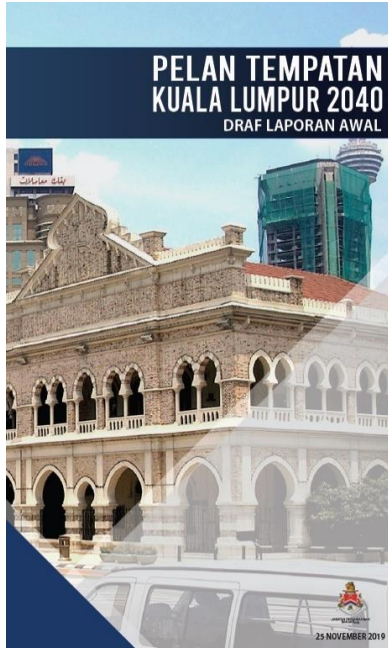




## 4.1. 新たな2040開発計画



KLストラクチャープラン2040



KLローカルプラン2040



KL歩行者と自転車のための  
マスタープラン2030



KL低炭素社会  
ブループリント2030



市の開発を規定している、法定の「ストラクチャープラン」と「ローカルプラン」が、実施期間の終了が間近となっている。

クアラルンプール市では、新法定計画を作成し、2021年1月1日までに官報公示し導入する予定である。

非政府団体(NGO)や民間セクターも含めたすべてのステークホルダーが携わる計画となる。その計画では、クアラルンプール市が抱えるすべての都市問題に取り組むための解決策を打ち出すことになる。







## 4.2. 放置されていた河川の再生

クアラルンプール市は放置されていたゴンバック川を再生させた。  
(「リバー・オブ・ライフ(ROL)」プロジェクト)

- 河川清掃(110km)
- 河川美化(11km)

この事業では様々な施策とパブリック・アウトリーチプログラムが実施された。  
民間の土地所有者はこのプロジェクトによって直接的に直接的な恩恵を被っている。

- 新たな開発を引き寄せる
- 土地の価値が向上
- ビジネスが活性化
- 多くの観光客が訪れる







## 4.3. ティティワンサ湖公園の改修

クアラルンプール市は老朽化したティティワンサ湖公園を改修した。

- 土地面積：95ヘクタール(湖面積57ヘクタールを含む)
- 新たなウォーターレジャー設備を整備
- 様々な種類の魚が生息するように整備
- 新たに2000本の木を植樹
- 新たな動植物を追加

この事業では様々な施策とパブリック・アウトリーチプログラムが実施された。周辺の民間の土地所有者はこのプロジェクトによって直接的な恩恵を被っている。

- 新たな開発と投資を引き寄せる
- 土地の価値が向上
- 小規模業者に新たなビジネス機会が生まれる
- 多くの入園者が来園

改修した公園では

- 渡り鳥が飛来するようになる
- また、照明はLEDを使用しており、近々、電力を太陽エネルギーでまかなう予定



3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に







## 4.4. 老朽化した公共住宅の再開発

クアラルンプール市は老朽化した公共住宅のラザック・マンションを再開発を行った。

- 面積: 13.4 ヘクタール
- 総戸数: 685戸
- 寝室1部屋・床面積40㎡(605戸)
- 寝室2部屋・床面積50㎡(80戸)

この事業は官民連携事業である。

この公共住宅の所有者にとっては次のような利点がある。

- 寝室3部屋（床面積74㎡）の1戸を無料で使用できる
- 新たな住宅エリアは、公共施設・設備が完備されている



民間企業は、残りの用地に集約型商業開発を行うことが許可された。

周辺地域は次のような直接的な恩恵を被っている。

- 新たな道路整備が行われた
  - 新たなビジネスの可能性が生まれた
- この事業はすべてにおいて低炭素な形をとる事業となっている。







## 4.5. 再生可能エネルギー(RE)の推進

「クアラルンプール市低炭素社会ブループリント」では次の目標を掲げている。

- 2030年までに炭素排出量70%削減
- 主要戦略は、従来型の電源から太陽エネルギー発電への切り替え

クアラルンプール市は次のパートナーと連携している。

- 東京都(TMG)
- 国営電力会社Tenaga Nasional Berhad(TNB)
- マレーシア持続可能エネルギー開発庁(SEDA Malaysia)



ソーラーファーム、大クアラルンプール(Greater KL)

東京都の具体的支援内容

- クアラルンプールの建物3000棟を対象に太陽エネルギーへの切り替えの可能性の分析
- 東京都がクアラルンプール市の職員を対象に、エネルギーの効率化に向けた目標設定と行動計画策定に関する研修を実施。研修で得たスキルを用いて、市幹部やその他の建物所有者に計画実施に向けた説明を行い了承を得た。

クアラルンプールの「トレーニングセンター」は、「Centre for Sustainable Development(持続可能な開発のためのセンター)」に改名予定。



7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

11 住み続けられる  
まちづくりを

13 気候変動に  
具体的な対策を

16 平和と公正を  
すべての人に

17 パートナリシップで  
目標を達成しよう



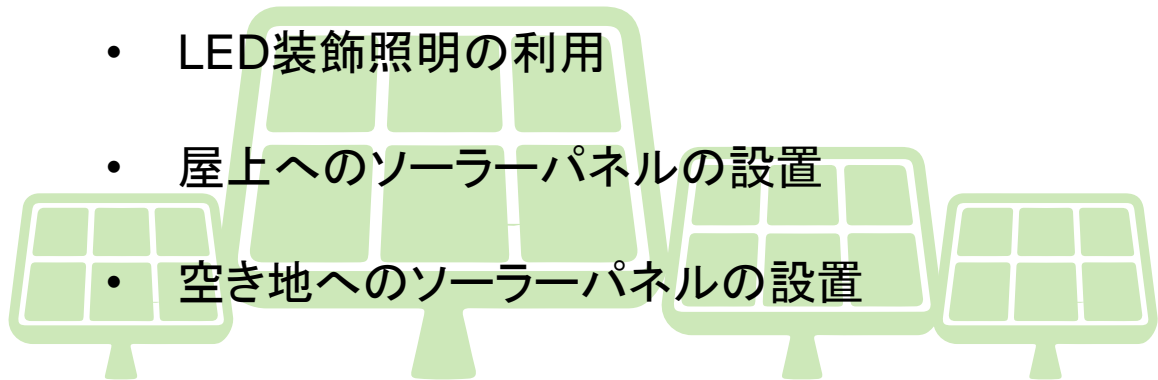




## 4.6. エネルギー効率 (EE) の改善

炭素排出量削減のために次の対策を講じている。

- 下記の措置を採用
  - カジュアルな服装の着用
  - 室内冷房の温度設定は必要最低限にとどめる
  - 照明ゾーニング制御システムの導入
- エネルギー効率の高い設備の設置
- 街燈のLED照明への切り替え
- LED装飾照明の利用
- 屋上へのソーラーパネルの設置
- 空き地へのソーラーパネルの設置



LED装飾照明とLED街燈



IKEAチェラス店屋上



KEN Towerの屋上、KL北部



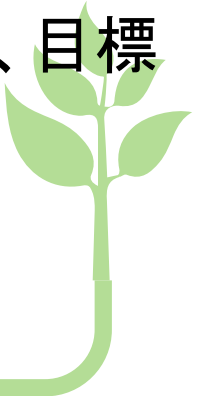


## 5.0. まとめ

クアラルンプール市は、すべてのSDGsが市当局の法定業務の対象となるわけではないことは承知している。しかし、間接的に関連している目標があることも認識している。

前述したプロジェクトやプログラムでは、多くの成果が生み出されている。そして、クアラルンプール市は、プロジェクトのパートナーや土地所有者、住民とともに、その成果を享受している。また、その成果は周辺地域にも利をもたらしている。

クアラルンプール市はこれからも引き続き、SDGsと整合したプロジェクトやプログラムに取り組んでいく。クアラルンプール市は、それらの取り組みに携わるパートナーや参加者をより多く集められるように、内部の人材やリソースを活用していく。総体的に取り組むことは、野心的目標(ビジョン)の実現に効果的であった。創造力、専門知識、テクノロジーおよび関連リソースが、誰にも恩恵をもたらす「誰も置き去りにしない」で、目標(ビジョン)を実現していくための必須要素である。





Thank you

Terima Kasih

ありがとうございました

감사합니다

شكرا لكم

Gracias

谢谢

धन्यवाद

